

玩具研究に就て

和田 實

幼児教育上玩具の忽に出来ないことは識者の夙に入釜しく云つて居る所で今更我々の喋々を俟たないで判り切つて居ることではあるが然らば如何に之に充分な解答を與へる人は先づない様である。吾人は所謂世の名士が口や筆の先で玩具に關する種々の注文を出すのを見た。時々は某種の玩具に對する批評談なども聞いた。其論評なども見た。併し何れも斷片的感想談か然らざれば好事的骨董談が主となつて居るので玩具の歴史の盛衰や地方的狀況などに就いては如何にも詳しいものであるが、吾人の當の目的として居る幼児教育其物には然したる參考にもならず、之に因つて母親が如何なる玩具を我子に與へ様かと云ふ目安を得ると云ふことには餘り役に立たぬ様である。吾人は世の名士や識者に依頼して早く完全なる玩具の

研究の成らんことを獨望して居るのであるが未だ有り難いと感じた程の指導者に遭遇することが出来ないので如何にも遺憾のことである。然るに吾人の傍には常々幾十の幼児が居る。日々おもちゃや／＼とせがまれてあれか是れかと考へる餘裕もなく供給しなければならぬ様な次第である。是に於てか玩具の教育的研究と云ふことは最も痛切に其必要を感じて居る。此機を利用して玩具を研究することは最も便利なことである。然るに多少の効果のないことはあるまいと考へて組織したのが本會玩具研究部である。然れば本會の玩具研究は其目的とする所は實際の教育に少しも貢獻することである。従つて何歳位の子供には如何なる玩具が最も有用であるかと云ふことは吾人が研究の當の目的である。是に就いては吾人固より多少の意見を以て居る。併し吾人の經驗は極めて狭き範圍に於ての研究であるから是が果して一般の兒童に適するか何うかは廣く實行して見なければ判らぬ。是に於てか吾人の玩具の研究に同情せられて吾人と共に其實験的方

面を贊助せらるゝ人士を求むるの必要を生じた。是等の事情が本になつて彼玩具研究部賛助員と云ふものを募集し、廣く吾人の意見を實行する機会を作らうと云ふことに運んだ次第である。聞く所に因ると歐米に於ては夙に玩具配布組合が成立して居つて中々大什掛で遣つて居るやうである。或る程度に配布と云ふ例から見ても父兄の心勞を省くことは非常で然も年齒の成長と共に統一したる玩具を與へることが出来るから此仕事でも獨立した立派な事業と云ふことが出来るだらうと思ふ。本會の玩具配布が行く／＼發達して歐米の夫れの様になるか何うかは疑問であるが然し吾人の研究の効果が着々効を奏すると共に此事業も漸々發達するに違ひないと信じて目下努力して居る次第である。餘事は兎に角、要する所吾々が玩具研究に努力する當の目的は第一に現在世に賣られて居る玩具を研究して果して何れ程のものが教育的効力を有するかと云ふことを研究して幼兒教育上に統一したる玩具の理想を建て第二には日々製造家より提出せらるゝ新案玩具を批評して其玩具の教育

的價值及び使用より兒童の範圍等を明示し、第三には進んで規に缺乏せる玩具を考案し以て益々玩具の改善を計らんとするのが主たる目的である。人或は吾人の此計畫を效て其成功を疑ふものがあるかも知れぬ。併し吾人は多少自ら信する所がある吾人は吾人の自身の事業を以て決して空想に終るものとは思はぬ。何となれば吾人は他方に於て遊戯研究者である。然も体操家の如き偏局せる遊戯研究者にあらざして幼兒の全遊戯に就いて深き研究を試みつゝあるものである。既に遊戯研究者である。従つて玩具が如何に用ゐらるゝかと云ふことに就いては當然尤も深き觀察を試みつゝあるので玩具に關して抱持せる己が意見が果して正確を得居るや否を檢察するに就いて尠なからぬ便宜を有するからである。斯の如き由來と斯の如き抱負を以て取り掛つた吾人の玩具研究が果して那邊迄發展し得るものかは偏に賛助員諸君の誘導に俟つものが多いだらうと思ふ。世の志を同ふせる士希くは吾人の事業を翼賛せられんことを。

●玩具研究部賛助員への
配布玩具説明

●自三年至四年男兒 玩具研究部員高市次郎
桃太郎、最近に發賣された京都の清水焼で桃

太郎が桃から生れやうとするのと翁と媪と三個
一組で色の配合から形迄餘程甘く出来てをる。

觀察玩具でお伽噺の材料に最も適當してゐる
情の教育に資する所が多い。之を用ゐるには或
は配置をかへ或は箱庭の大きな家の中におき或
は箱庭中の人物とすることなども面白い。

2. 倒立人形、ブリキ製で高價な舶來物を模造し
定價拾壹錢

たものだが舶來其のまゝに出来てをる。動的觀
察玩具中の理學的玩具に屬し甘く平均を保ちて
徐に前進する處に興味ありて智力を知らずく
啓發するものである。 定價貳拾九錢

●自四年至五年男兒
機關砲、之は大阪製でニッケルメッキをした
金屬製のもので製作も餘程丈夫である。あつぎ
或は散彈を澤山入れてハンドルを廻せば恰も機

●自八年至九年男兒
組木、兩端に凹所を有する二寸計の杉製木
片が五十個一組となりたるもので此の兩端の凹
所と凹所とを互に嵌み合せしむれば適宜の直線
並に曲線迄作り得て此の線を組み合せて任意の
立体物も所り得るものである例令は机腰掛風
車瀛車等自由なものが作らるゝ圖形も數種添つ
てゐて椅子の作例が入つてゐる。構成的玩具で
日本製としては種類の最も少ないものである。
手指の練習となると共に工夫想像の精神を養ひ
忍耐根柢の習慣を付けることが出来る。尤も此
の玩具は昨年の春頃から賣り始めたのであるが
餘り用ひられなかつたのが此頃識者の注意を惹
くやうになつた。 定價貳拾貳錢

2. 魚形水雷、パラフキンにて魚の形を作り其の
中に火藥を仕込みて下方に重を吊して水中に浮

3. 飛雀 飛雀はボール製の雀の形を螺旋の仕掛で空中に上げるもので三間位翻々しとて飛び上る。此の玩具は運動を目的としたもので戸外に行ふべきものである。 定價七錢

注意 此の配布玩具は一口貳錢過金

●自四年至五年女兒 針具、西洋から歸つた人の話を聞くにあらでは總ての玩具はうそのものがない例令形は小さく製造は粗であるにせよ實物の供へてゐる形色合などは玩具も亦た供へてる然らざれば兒童は誤つて智識を得ると言はれてゐる日本のは價が安いから仕方はないが此の點が缺てゐ

のである。 定價十個入九錢

3. 飛雀 ボール製の雀の形を螺旋の仕掛で空中に上げるもので三間位翻々しとて飛び上る。此の玩具は運動を目的としたもので戸外に行ふべきものである。 定價七錢

2. 舌切雀 自三年至四年男兒の欄にて説明せし「桃太郎」が「舌切雀」に變つたまで、あるから略す此の種類のもは他にも種々ある。 定價拾壹錢

3. 活動水族館、ブリキ製の圓筒の中に磁石棒を装置し之を獨樂の如く廻して其の棒の傍に浦島太郎だとか蟹の様なものをもつて行くとマグネットとの作用でぐるぐる廻る様になつてを其の少し下つた處に段があつてそこに種々の魚類があつてある夫れが圓筒内を廻轉する磁石に感じて靜かに動く別に又磁氣を帯びた釣竿があつて之を魚の處に持つて行くと直に附着して釣り上げることが出来る此の玩具は一昨年頃出

るものが多し此の針具は糸巻だけ材料も製造も實物と異つてゐるが其の他は材料製造法まで實物と少しも變らない先づ日本製としては價の割合によい方である。模倣遊戯に用ふる好材料にして女兒には大人の想像以外に模倣玩具が歡迎せらるゝ殊に女兒に歡迎せらるゝ家族遊はやがてホームを主宰する小模型であらう定價拾七錢

来たもので今は店頭に餘り見付つからない。兒童自身で活動せしめ之を観察するものであるから多少手指の練習となると共に理學的現象の觀察物としては興味あるものである是等の印象が多少にても兒童の腦の一隈に残り他日磁氣を應用した大發明物の種子ともなれば幸である

定價金拾貳錢

●自五年至六年女兒

1. 針具、前掲

2. 蝶逐自動、ブリキで作り螺旋仕掛けで自動するもので前にならぬ蝶が翅を動かしながら行く其の後から女の兒が之を逐かける様になつてゐる。動的觀察玩具でも舶來のものもまねたのである。用ひ方で色々な話の材料にもなり兒女自身で動かして楽しむことも出来る。蝶が人形の大き程もあつて兒童が怪まないのは幼兒が人物の畫をかくとき頭に足を付けてすましてゐると同じ心理作用で主体にのみ注意がまとまり比較統合の心理作用が發達しないからである若し此の玩具をして人形と蝶との實際の比を保たし

めたならば少しも興味はないのであるお驗し下さい若し此の蝶は人形の割合に大きいと言はるゝ、お兒さんがあつたならば其の方は餘程發達が速かなのである是等が御通知をして戴きたい點である。

定價

●新しき玩具の御紹介

一、蓄音機、大阪で昨年出来たものがあつたが不完全で音が明瞭しなかつたが四月中に平圓盤で餘程よいのができた大聲とは言へないが四間位隔つてゐて充分音を聞き分けることが出来る其の音がいかにも玩具的で一種の興味があつた歌には「桃太郎」「龜と兒」「はとほつほ」「お月様」樂隊マーチ一其の他俗歌が澤山ある。

定價蓄音機貳圓八拾錢。盤五拾五錢

一、ピアノ、形は全くオルガンで其の音はピアノである是は職人がピアノ音を知らずに作った誤りであると思ふかゝる誤りは時々あるので益々玩具研究の必要を感じるのであるが兎に角出来は餘程甘くて丈夫である音色もよく「見渡せば位は充分弾じられる。(五歳より八歳位迄)

定價七十錢

一、動物の早變り、朴の白木で作つたもので獸類の体に四肢の着いたものが一つと牛獅子猫象兎の頭と尾とが一箱に入つてを一つと胴になつてを二枚の板の間に頭と尾とを挟めば前の五種の動物が出来るのである。而して首尾四肢の各關節が動く様になつてゐる。此の玩具は西洋には以前からあつたが日本で此の種のもので出来たのは初めてである。兒童各自の工夫によりて種々の形に變じ又之を模倣遊戯にも用ひられて高尚な遊戯品である(六歳より八歳位迄)。

定價三十五錢

一、瀛車、瀛車や電車は随分澤山出来たが粗造なもの許りでも舶來のものとは較べものにならない殊にレール付になると始終脱線して甘くいかなかつたが今度出来たレール付の瀛車は色合から齒輪から車輪まで甘く出来て廻轉數も多くはなつたが舶來にはまだ及ばざること遠しである併し和製として第一等で稍々満足すべきものである。

定價壹圓五拾錢

一、棒押鈴車

直徑五寸の輪に鈴を二つつけて

之を棒で押すとちりん／＼と鳴る様になつてゐる製作が頑丈で色は赤と緑を配合してを此の時代は原色を用ひて貰ひたいが職人の考案だから注文通りには行かぬ。此の玩具の良いと思ふ點は輪の幅が廣いから押すとき倒れないと云ふこと、鈴を鳴らすに螺旋狀の針金を用ひずして滑脱な取付による重鎮にて鈴を打つ故取れつこのないことである棒押の種類は澤山ありて複雑なる自轉車とかとんぼとか色々なものを取り付けたものが澤山あるが之を用ふる兒童には其の必要がないのである又第一の缺點は押し進まんとするとき直に倒れて用をなさないことであるが此の棒押は是等の缺點を補つてゐる。

(四五歳の兒童、定價貳拾五錢)

注意

右紹介の玩具は四月中に出来たものであるが此の外にも新案特許となつたものもあるが餘り賛成の出来ないものは掲載せぬこととした。